

指定管理者制度導入施設 年度評価シート

評価年度	令和4年度
------	-------

1 基本情報

公の施設名	相模原市立城山障害者デイサービスセンターつくしの家
指定管理者名	特定非営利活動法人福祉協会しろやま
指定期間	平成31年4月1日から令和5年2月28日まで（3年11か月） ※当該施設については、施設の老朽化のほか、指定管理者であった（特非）福祉協会しろやまが、近隣地で民設民営による施設を新たに整備することから、令和5年2月28日をもって廃止した。当該法人は、令和5年3月1日に新施設を開設し、引き続き利用者への支援を行っている。 ※以下、令和4年度の管理実績等は令和5年2月末までの実績
施設設置条例	相模原市立城山障害者デイサービスセンター条例
施設の設置目的	在宅の障害者及びその介護を行う者に対し、通所による生産活動、創作的活動、介護方法の指導等の便宜を供与することによって障害者の自立と社会参加を促進し、もって障害者の福祉の増進に寄与する。 ※障害福祉サービス事業（就労継続支援B型）を実施。
施設概要	開所時間：午前8時30分から午後5時15分まで 休館日：日曜日及び土曜日、国民の祝日に関する法律に規定する休日、12月29日から翌年の1月3日まで 年間開所日数：244日 敷地面積：947.00㎡ 延床面積：301.00㎡ 主な施設：訓練・作業室、多目的室、静養室・相談室、更衣室、シャワー室、事務室、トイレ、倉庫
施設所管課	健康福祉局 地域包括ケア推進部 高齢・障害者福祉課

2 管理実績

項目（単位）	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
利用者数合計（人）	4,497	4,290	4,589	4,879	4,720	4,198
自立支援給付費（円）	34,833,918	35,304,621	39,148,095	41,862,259	37,160,304	34,228,908
収入総額（円）	36,865,850	37,218,928	41,320,334	43,829,043	40,708,264	36,252,369
支出総額（円）	30,911,162	33,977,147	37,890,919	28,578,673	30,366,573	27,807,231
工賃支払い（円）	1,432,871	1,408,000	1,686,476	1,099,634	2,752,087	1,679,241

3 成果指標の達成度

評価（5評価）	評価理由・委員会意見
A	新型コロナウイルス感染症の影響がある中で、定員上限の利用者を確保し、年間を通して就労継続支援B型事業を安定的に運営できている。

指標1	
指標名（単位）	開所日1日当たりの平均通所者数 単位：人
指標式と指標の説明	年間延通所者数÷開所日数 施設を利用し、生産活動、創作活動等の便宜を受けることにより、障害者の福祉の増進が図られるため、1日当たりの平均通所者数（年間延通所者数÷開所日数）を成果指標とする。

項目（単位）	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
目標値（単位）	19.5	20.0	17.0	17.0	17.0	17.0
実績値（単位）	16.7	15.9	17.1	17.1	17.1	17.2
達成度（%）	85.6%	79.5%	100.6%	100.6%	100.6%	101.2%

4 事業の実施状況

評価 (5評価)	評価理由・委員会意見
S	新型コロナウイルス感染症の影響により、一部実施できなかった事業はあったものの、就労継続支援B型事業を実施する施設として、日常的な生産活動のほか、社会性やコミュニケーション能力の向上に資する支援を実施するなど、利用者の社会参加に向けた取組みについて、感染症対策を講じながら着実に実施することができている。

市が指定する事業

主な事業名	実施時期	内容・回数・参加者・効果等	評価
就労継続支援（B型）の事業	通年	利用者の心身の状況に応じ、利用者の自立の支援と日常生活の充実に資するよう、適切な技術をもって行う。また、利用者に対し、その有する能力を活用することにより、地域生活を営むことができるようにするため、利用者の心身の特性に応じた必要な訓練を行う。※受注作業：紙袋の製作、ジョイントの組立、封筒の仕分け、公共施設の清掃、除草等。	◎
職場実習	通年	利用者が就労継続支援（B型）計画に沿って実習できるように、実習の受入先の確保を行う。また、公共職業安定所、障害者就労・生活支援センター及び盲学校、聾学校、養護学校などの関係機関と連携して、利用者の就労に対する適性や要望に応じた職種・実習の受入先の確保に努める。（令和4年度は、該当者なし）	/
求職活動の支援	通年	公共職業安定所での求職登録等、利用者が行う求職活動の支援を行う。また、公共職業安定所、障害者就労・生活支援センター及び盲学校、聾学校、養護学校などの関係機関と連携して、利用者の就労に関する適性や要望に応じた職場開拓に努める。（令和4年度は、該当者なし。関係機関とは必要に応じて連携。）	○
職場安定のための支援	通年	利用者の職場定着を促進するため、公共職業安定所、障害者就労・生活支援センター及び盲学校、聾学校、養護学校などの関係機関と連携して、利用者が就職した日から6月以上、職業生活における相談等の支援を継続する。（令和4年度は、該当者なし）	/

企画提案事業

主な事業名	実施時期	内容・回数・参加者・効果等	評価
(なし)			

自主事業

主な事業名	実施時期	内容・回数・参加者・効果等	評価
土曜開所	通年	重度障がい者等（療育手帳Aの方、30歳未満の利用者等）を対象に毎月土曜開所日（隔週）を設け、余暇を支援	◎
社会参加促進事業	通年	地域の見守りも兼ねて、定期的には地域清掃を実施。社会性やマナーの習得、余暇支援として行事を実施。	◎
地域との交流	令和4年10月23日	城山地区社協と共催で城山地区福祉まつりを実施。	○

5 利用者の満足度

評価 (5評価)	評価理由・委員会意見
A	昨年度と比べ、満足度は上昇している。アンケート調査結果は、施設を利用して「良くなかった」との回答は無く、約8割以上の利用者が「大変良かった」と回答している。職員対応についても、8割以上の利用者が「良い」と回答しており、利用者への細やかな支援が実施されていることが伺える結果である。

利用者満足度調査	
調査手法/サンプル数	利用者19名にアンケート実施(5月)
目標値の基準	「施設を利用して良かったと思いますか」との問いに対する5段階評価のうち「大変良かったと思う」、「まあまあ良かったと思う」と回答した方の割合の合計

項目(単位)	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
目標値(%)	91.1	91.7	92.3	92.9	93.5	94.1
実績値(%)	84.2	100.0	90.0	72.2	85.0	94.7
達成度(%)	92.4%	109.1%	97.5%	77.7%	90.9%	100.6%

その他の取組		
取組事項	時期	取組内容
ご家族との連携	通年	定期的な情報交換会の開催(年4回)
利用者打合せ	通年	利用者の要望の傾聴、利用者同士のトラブル解決の場として毎月1回実施
意見箱の設置	通年	利用者が気軽に匿名で意見が伝えられるように事業所内に意見箱を設置

6 施設の経営状況

評価 (5評価)	評価理由・委員会意見
S	事業収支は黒字であった。総資産は1.4億円であるが負債は僅少であり、自己資金で建物を取得、自己資本比率は高く、手元資金も豊富であり、安全性に問題は少ないと思われる。 相模原市立城山障害者デイサービスセンターつくしの家の廃止に伴う職員の退職給付による人件費負担で経常増減差額は一時的に赤字(引当金戻入で最終損益は黒字)だが、相模原市立城山障害者デイサービスセンターつくしの家からの引き継ぎを順調にこなせば法人の経営状況に大きな問題は生じないとする。

施設の収支概要		※直近3年間について記載 (千円)		
項目		令和2年度	令和3年度	令和4年度
収入 (a)		43,829	40,708	36,252
	指定管理料	0	0	0
	自立支援給付費	41,862	37,160	34,229
	その他の収入(就労支援事業)	1,967	3,548	2,023
支出 (b)		29,166	30,366	27,807
	人件費	20,070	19,070	19,556
	就労継続支援事業費	1,100	2,752	1,679
	その他の支出	7,996	8,544	6,572
本体事業収支 [(a)-(b)] (c)		14,663	10,342	8,445
自主事業収入 (d)				
自主事業支出 (e)				
自主事業収支 [(d)-(e)] (f)		0	0	0
全体収支 [(c)+(f)]		14,663	10,342	8,445
備考				
団体の財務状況	団体本体の経営状況について特段の問題はない。			

7 管理業務の履行状況

検査方法	所管課職員による現地確認及びヒアリング	
実施時期	令和5年2月13日	
検査項目	確認結果	備考
管理業務	適正に実施	
危機管理	適正に実施	
人員配置・地元活用	適正に実施	
現金管理	適正に実施	
会計・経理	適正に実施	
情報セキュリティ	適正に実施	
情報公開・個人情報保護	適正に実施	
市への報告事項・事前承認等	適正に実施	
加点事由	具体的内容	

8 ウェブアクセシビリティ

ホームページの作成	無
-----------	---

ウェブアクセシビリティの取組項目	取組状況
機種依存文字を使っていない。	
ページ内の文字の大きさを変えることができる。	
単語の途中にスペースや改行を入れていない。	
ページ内容を的確に表しているタイトルが付いている。	
ダウンロードできるファイルには、ファイルの種類とサイズを記載している。	
画像には、代替テキスト等を付与し、支援技術利用者にも適切な代替情報を提供している。	
背景色と文字色にコントラストを確保するなど、色使いに配慮している。	
その他取り組んでいること	

9 指定管理者の自己評価

令和4年度の就労継続支援B型事業においては下請け作業を中心に行い、工賃収入は昨年より減少したが製品の納入に追われる慌ただしさがなく、仕事をする上で必要な社会性等を身につける支援ができました。しかしながら、利用者自身（ご家族も含め）が現状に満足をしているようでステップアップする気持ちを持たせることができませんでした。

行事においては様々な事業を実施することができました。また、移転のための引っ越し作業では力仕事を利用者の方々が手伝ってくれたことを大変うれしく思い、引っ越し作業代として工賃を支払わせていただきました。

10 所管課意見

・就労継続支援B型事業を行う施設として、法令に定める生産活動や知識・能力の向上のために必要な支援を行うとともに、相模原福祉オンブズマンによる面談と併せ、個人面談の実施や利用者意見箱の設置など、個人個人のニーズ把握に努めており、利用者に寄り添った支援が行われていることを評価する。

・就労継続支援B型事業を安定して運営を行うためには、継続的な作業の受注が必要になるが、様々な種類の作業の受注を安定して得ており、発注者から信頼が置かれていることが伺える。

11 選考委員会意見

【評価した点】

・自主事業として地域の見守りを兼ねた定期清掃等を実施し、地域貢献を行うとともに、地域交流に力を入れていること。

・利用者への支援については、個人のニーズに応じた支援が行われており、通所意欲の向上に繋がっていること。

・本来休所日となる土曜日について、自主事業として隔週で開所し、重度の障害のある利用者の社会参加の促進に貢献していること。

・利用者の満足度が高く、オンブズマンも積極的に活用していること。

【今後期待すること】

・職場実習に出られる利用者さんが1人でもいると、より活気のある事業所になっていくのではないかと期待している。

総合評価（自動判定）

S

(85/100)

